

著作目録(斎藤清一)

著者	東北大学史料館
号	152
発行年	1978-03
URL	http://hdl.handle.net/10097/63540

斎藤清一教授著作目録

昭和 53 年 3 月

東北大学記念資料室

(著作目録第 152 号)

齋藤清一教授略歴

大正4年3月10日生

昭和13年3月	東北帝国大学工学部機械工学科卒業
昭和13年4月	三菱神戸造船所入社
昭和22年9月	労働基準監督官任命
昭和24年7月	東北大学助教授 高速力学研究所
昭和33年5月	東北大学教授
昭和34年1月	工学博士
昭和37年4月	東北大学・評議員・高速力学研究所長併任（40.3.31まで）
昭和44年4月	同上（49.3.31まで）
昭和52年10月	日本機械学会功労賞を受く
昭和53年4月	停年退官
昭和53年4月	東北大学名誉教授

著 作 目 録

No.	著 作 論 文 題 目	掲載誌名	巻 号 頁	発表年月	共 著 者
I 研 究 論 文					
I 水力機械関係					
1	低圧型水車試験装置準備試験	三菱報告	Q. G. 5	昭和17. 12. 30	
2	低圧型水車模型試験（第一次試験）	三菱報告	Q. G. 6	昭和18. 1. 12	
3	キャビテーション試験装置準備試験	三菱報告	Q. G. 7	昭和18. 1. 27	
4	キャビテーション試験（第一次試験）	三菱報告	Q. G. 8	昭和18. 1. 31	
5	水車の回転空間内の流れに関する研究 第一報	三菱報告	Q. G. B 45	昭和18. 11. 5	
6	戦車用流体継手の強制冷却法	三菱報告	Q. G. B 51	昭和19. 4. 14	
7	低圧型水車模型試験（第二次試験）	三菱報告	Q. G. 11	昭和19. 8. 20	
8	高速粉碎機用小型水車試験について	三菱報告	Q. G. 41	昭和21. 10. 11	
9	可逆流軸流ポンプの研究	三菱報告	G. B. Q 78	昭和22. 10. 24	
10	カプラン水車の走放し速度を求める一方法	速 研 報 告	第 3 巻, 第30号 (1950) 113~121頁		
	Method of Calculating Runaway Speed of Kaplan Turbine (Report 1),	RIHSM,	Vol. 4 No. 36, P. 91.	(1954)	
11	小型水力接手の研究（第1報 可動案内羽根流体変速機接手の理論的研究）	速 研 報 告	第 6 巻第60号 155~162頁	(1952)	
	On the Small Hydraulic Coupling (Report 1, Theoretical Research on Torque Converter Coupling),	RIHSM,	Vol. 4, No. 37, P. 103	(1954)	
12	カプラン水車の走放し速度に関する実験的研究（第1報）	速 研 報 告	第12巻第117号 91~113頁	(1955)	
	Experimental Investigation of Runaway Speed of Kaplan Turbine (Report 1),	RIHSM,	Vol. 7, No. 64, P. 45	(1956)	

- | | | | | |
|----|--|---|----------------|------------------------------------|
| 13 | カプラン水車の走放し速度に関する実験的研究 (第2報) | 速 研 報 告 第14巻第133号
61~93頁 | (1958~59) | |
| | Experimental Investigation of Runaway Speed of Kaplan Turbine (Report 2), | RIHSM, Vol. 12, No. 111, P. 1 | (1960~61) | |
| 14 | カプラン水車の走放し速度に関する実験的研究 (第3報) | 速 研 報 告 第14巻第134号
95~114頁 | (1958~59) | |
| | Experimental Investigation of Runaway speed of Kaplan Turbine (Report 3), | RIHSM, Vol. 12, No. 120, P. 263 | (1960~61) | |
| 15 | 高落差カプラン水車に関する研究 (第1報 実験落差を変えた場合) | 速 研 報 告 第18巻第178号
161~179頁 | (1962~63) | |
| | Research on the High Head Kaplan Turbine (Report1, The Case Where Experimental Head is Changed), | RIHSM, Vol. 15, No. 147, P. 145 | (1963~64) | |
| 16 | 高落差カプラン水車に関する研究 (第2報 すき間キャビテーションの影響) | 速 研 報 告 第20巻第193号
47~69頁 | (1964~65) | |
| | Research on the High Head Kaplan Turbine (Report 2, Effect of the Clearance Cavitation) | RIHSM, Vol. 17, No. 167, P. 145 | (1965~66) | |
| 17 | Effect of the Clearance Cavitation Concerning High Head Kaplan Turbine, | Proceeding of IAHR Symposium, Sendai, Japan | P. 285 62 (19) | |
| 18 | 高落差カプラン水車に関する研究 (第3報 翼端すき間キャビテーションの実験) | 速 研 報 告 第22巻第218号
159~181頁 | (1966~67) | 樺 茂宏,
斎藤清志,
宇角元亨 |
| | Research on High Head Kaplan Turbine (Report 3, Experiment of Tip Clearance Cavitation) | RIHSM, Vol. 18, No. 178, P. 165 | (1966~67) | S. Kanba,
K. Saitō,
M. Ukaku |
| 19 | 反動水車のランナボスに関する研究 (第1報 ボス後部形状) | 速 研 報 告 第23巻第29号
159~188頁 | (1967~68) | 斎藤清志,
坂野 進 |
| | Research on Runner Hub of Reaction Turbine (Report 1, Rear Shape of Runner Hub) | RIHSM, Vol. 19, No. 189, P. 173 | (1967~68) | K. Saitō
S. Sakano |
| 20 | 高落差カプラン水車に関する研究 (第4報 翼端すき間キャビテーションの実験 (続報)) | 速 研 報 告 第24巻第247号
335~362頁 | (1968~69) | 斎藤清志,
宇角元亨 |

- Research on High Head Kaplan Turbine (Report 4, Experiment of Tip Clearance Cavitation (Continued)) RIHSM, Vol. 20, (1968~69) K. Saitō, M. Ukaku
No. 206, P. 289

II 流体工学関係

- 21 噴射水試験による金属耐蝕性の比較 日本機械学会論文集 9巻37号 (昭和18, 11)
P III—57
- 22 直管内旋回流の減衰 (第1報 入口にボスがある場合) 速研報告 第26巻 第271号 (1970) 斎藤清志, 青木修一
183~213頁
- Decay of Swirl in a Straight Pipe Flow (Report 1, with Hub at the Entrance) RIHSM, Vol. 28, (1973) K. Saitō, S. Aoki
No. 260, P. 43
- 23 Decay of Swirl in a Straight Pipe Flow (With Hub at the Entrance) Proceedings of the Fourth Conference on Fluid Machinery, Budapest, (1972)
- 24 翼列翼の油におけるキャビテーション性能 (第1報 節弦比が0.667のTulin翼について) 速研報告 第30巻 第302号 (1972) 斎藤清志, 宇角元亨, 小山忠正
163~203頁
- Cavitation Characteristics of Cascade Hydrofoil in Oil (Report 1, Experiments on Tulin Type Hydrofoil with Pitch Cord Ratio 0.667) RIHSM, Vol. 31, (1975) K. Saitō, M. Ukaku, T. Oyama
No. 279, P. 1
- 25 翼列翼の油におけるキャビテーション性能 (第2報 節弦比が0.667のSC₂について) 速研報告 第34巻 第330号 (1974) 斎藤清志, 宇角元亨, 小山忠正
29~57頁
- Cavitation Characteristics of Cascade Hydrofoil in Oil (Report 2, Experiments on SC₂ Hydrofoil with Pitch Chord Ratio 0.667) RIHSM, Vol. 35, (1976) K. Saitō, M. Ukaku, T. Oyama
No. 298, P. 53
- 26 比較的高粘性の流れにおける翼形特性 速研報告 第35巻 第341号 (1974) 斎藤清志, 小山忠正
75~107頁
- Viscous Effect on Hydrofoil Characteristics Proceedings of IAHR 17th Congress Vol. 5, P. 267 (1977) K. Saitō, T. Oyama
- 27 油の汚れと単独翼形特性 日本機械学会, 流体工学・流体機械講演会に発表予定 (昭和53. 8. 31) 小山忠正, 宇角元亨

Ⅲ そ の 他

- 28 三菱化成黒崎工場第一発電所 三菱報告 Q. G. B (昭和22. 9. 26) 久野五十男
 第一号缶胴第三回苛性脆化
 について 73

N. B. 速 研 報 告：東北大学高速力学研究所報告

R I H S M: Reports of the Institute of High Speed Mechanics,
 Tohoku University

三 菱 報 告：三菱重工業株式会社報告

Ⅱ 単行本・分担執筆

- | | | | | | |
|------|--|---|-----------------------------|------------|------|
| (1) | 斎藤清一：流体機械における
スーパーキャビテーション | 日本学術会
議 | 不等質の流れシン
ポジウム前刷集,
43頁 | (1969) | |
| (2) | 斎藤清一：スーパーキャビテ
ーション関連文献集 | 日本機械学
会 | スーパーキャビテ
ーション調査分科
会 | (1969) | 他21名 |
| (3) | 斎藤清一：スーパーキャビテ
ーション | 日本機械学
会誌 | 第72巻 第609号
97～105頁 | (1969) | |
| (4) | 斎藤清一：スーパーキャビテ
ーション調査報告書 | 日本機械学
会誌 | 第73巻 第615号
501～511頁 | (1970) | |
| (5) | 斎藤清一：機械工学年鑑
流体工学 | 日本機械学
会 | | (1970) | |
| (6) | 斎藤清一：スーパーキャビテ
ーション流れ | 機械の研究 | 第23第 第1号
97～104頁 | (1971) | |
| (7) | 斎藤清一：スーパーキャビテ
ーションの応用 | ポンプ工学 | Vol. 8, No. 4,
p. 3. | (1972) | |
| (8) | 斎藤清一（編）：スーパーキ
ャビテーション | K. K. 菜根出版（昭和46年度文
部省科学研究費補助金による研
究成果刊行物） | | (1972) | |
| (9) | 斎藤清一：水力機械の研究雑
感 | 日本機械学
会誌 | 75巻 第648号 | (1972) | |
| (10) | 斎藤清一：年鑑「流体工学」
の一部執筆 | 日本機械学
会誌 | 76巻 第657号 | (1973) | |
| (11) | 斎藤清一：本協会の産学協同
への道 | ターボ機械 | 第2巻 第2号
1～2頁 | (1974) | |
| (12) | 斎藤清一：〔研究室紹介〕東
北大学高速力学研究所研究室
〔1. 斎藤研究室〕 | ターボ機械 | 第2巻 第4号
67～69頁 | (1974) | |
| (13) | 斎藤清一：ターボ機械の大型
化・高速化の特集号発切に際
して | ターボ機械 | 第3巻 第1号
1頁 | (1975) | |
| (14) | 斎藤清一：制御弁内の流れと
作動油の汚染〔I〕 | 油 圧 技 術 | 第15巻 第7号
19頁 | (1976) | |
| (15) | 斎藤清一：ターボ機械の技術
的發展限界 | 第3回ターボ機械協会シンポジ
ウム | | 昭51. 3. 31 | |
| (16) | 斎藤清一：国際水力学会第17
回会議に出席して | ターボ機械 | 第6巻 第4号
249～252頁 | (1978) | |